

平成27年度埼玉県博物館連絡協議会 総会 会議録

【開催期日】平成27年4月23日（木） 14時10分～15時30分

【開催場所】埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

【出席者】43館園50人（加盟館園76館〔分館を除く〕の過半数）

※別添 総会出欠一覧を参照

事務局 杉山 正司（埼玉県立歴史と民俗の博物館 副館長）

川上由美子（同上 主席学芸主幹）

岩田 明広（同上 学芸主幹）

二階堂 実（同上 主任専門員兼学芸員）

小林 剛（同上 主事）

【会議内容】

1 開 会 （進行：岩田幹事）

参加館園数を確認し総会の成立を宣言。

2 会長挨拶（代島会長）

代島新会長挨拶

（合わせて平成27年度の事務局自己紹介）

3 日程説明（岩田幹事）

総会配布資料の確認および総会・見学会の日程を説明。

4 議 事（議長：代島会長）

（1）議長選出

慣例により代島会長を議長に選出することを提案（岩田幹事）

・了承

（2）平成26年度事業報告について【資料1】

・事務局より事業報告。（二階堂幹事）

（3）平成26年度決算報告について【資料2】

・事務局より決算報告。（二階堂幹事）

・栗本監事（行田市郷土博物館長）より監査結果報告

◇質疑応答◇

・予算額に対して繰越額が4割強というのは多すぎると思われる。原因はなにか。そもそも予算の立て方に問題があるのではないか。（久喜市立郷土資料館・池尻）

・埼博連加盟館園マップ作成費などは入札をかけると予算よりかなり安い金額で応札があり、結果として執行残が出ることがある。（川上事務局次長）

・緊急時相互支援検討委員会費として100,000円計上しているが、これは災害が起こった場合のさまざまな手当を想定したものであり、一般会計に計上しているので、災害がおこらなければそのまま執行残という形で繰り越

され、結果として繰越金額が増加する傾向にある。こうした状況を改善するため、平成27年度予算案において、これを特別会計に計上することとした。のちほどご審議いただきたい。（杉山事務局長）

質疑応答後の採決により、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告は賛成多数で承認された。

(4) 平成27年度事業計画（案）について【資料3】

・事務局より説明。（二階堂幹事）

前期見学会・研究会は西ブロックと合同で、7月18日（土）に城西大学水田美術館で開催することで調整中である。

県外研修については墨田区に移転した「たばこと塩の博物館」を軸に周辺施設で調整中である。バス借り上げはせず、現地集合・現地解散で実施したい。

SNS導入については6月のアンケート実施前に、IT運営委員会を計画より前倒しで開催し検討することとしたい。

(5) 平成27年度予算（案）について【資料4】

・事務局より説明（二階堂幹事）

今年度の県外研修においてはバス借り上げをやめ、現地集合・現地解散で実施する予定であるため参加費を徴収しない。このため収入の部の参加費予算額を0円とした。

今年度から予算案に計上した特別会計繰入金のため、事業費の内の県外研修会費ならびに緊急時相互支援検討委員会費を減額した。これについては各会議の活動報告の部分で詳しく説明したい。

◇質疑応答◇

- ・加盟館園マップを毎年作成しているが事務局としてはどのような意図をもとに作成しているのか。（さいたま市立博物館・小倉）
- ・加盟各館園の情報についてはHP等でも入手できるが、依然として携帯できる紙媒体のマップについては、特に高齢者等の入館者には好評であり、今後も継続して作成したい。（二階堂幹事）
- ・昨年作成されたマップは各館の掲載情報にばらつきがあり利用しにくい。事務局において必要最上限の掲載情報のフォーマットを統一すべきでは。（さいたま市立博物館・小倉）
- ・昨年のマップは埼博連発足40周年記念ということで、例年仕様によらず、特別バージョンで作成したが、結果として掲載情報が各館によってばらつきが出てしまった。今年度については、ご意見を受け、事前にチーフ館会議等で意見集約を行い、掲載情報の統一を図りたい。（二階堂幹事）
- ・平成26年度の旅費の決算額が940円にもかかわらず、平成27年度で前年比で30,000円も増額しているのはなぜか。（さいたま市立博物館・小倉）
- ・団体用務への県費旅費支給について指摘を受けたことをふまえ、協議会

- 主催事業にかかる事務局員の旅費を計上した。（二階堂幹事）
- ・平成 27 年度予算支出の部・事業費の地域別連絡協議会費が増額されているのはなぜか。（飯能市郷土館・柳戸）
 - ・チーフ館会議からの要請を受け、1 館あたりの協議会費を 3,000 円から 4,000 円に増額したためである。（二階堂幹事）
 - ・平成 27 年度から特別会計で 10,000 円を積み立てることになった経緯は委員会報告の中で説明とあったが、事後説明では予算案の採択はできないのではないか。（飯能市郷土館・柳戸）
 - ・次第とは前後するが報告事項の【資料 6 - 2】により説明したい。平成 26 年度の緊急時相互支援検討委員会において、緊急時相互支援事業案が検討され、その中で災害対策準備金として今年度から特別会計として毎年 100,000 円積み立てることとし、予算案に計上した。特別会計の管理・運営方法については今年度の緊急時相互支援検討委員会において議論することになる。（杉山事務局長）

質疑応答後の採決により、平成 27 年度事業計画（案）、平成 27 年度予算（案）とも賛成多数で承認された。

3 報 告（議長：代島会長）

（1）平成 26 年度各地域の活動報告について

- ・【資料 5 - 1 ~ 4】により各チーフ館から報告を行った。
南部地域活動報告（埼玉県立近代美術館・飯田）
西武地域活動報告（川越市立博物館・天ヶ嶋）
東・北部地域活動報告（埼玉県立さきたま史跡の博物館・向井）
秩父地域活動報告（埼玉県立自然の博物館・木山）

（2）新チーフ館紹介

- ・今年度から西部地域のチーフ館となった飯能市郷土館を紹介。（任期は平成 27~28 年度）
飯能市郷土館柳戸館長から挨拶をいただく。

（3）平成 26 年度各会議の活動報告について

- ・【資料 6 - 1 ~ 2】により各委員会から報告を行った。
IT 運営委員会報告（川上委員）
IT 運営委員は今年度改選期にあたっている。事業計画にあるように第 1 回の委員会を開催したいので、チーフ館は各ブロック内で調整のうえ、早急に委員の推薦をお願いしたい。（再任も可）
緊急時相互支援検討委員会報告（杉山委員長）
緊急時相互支援検討委員会は、予算案で承認された特別会計の管理・運営等、昨年度から引き続きの検討課題が多いため、今年度は改選期にあたるが、各委員には再任ということをお願いしたい。

（4）その他

- ・事業経過報告（日本万華鏡博物館・大熊館長）

平成 28 年にエジンバラ大学で開催予定の万華鏡展示会について、その順部状況等の報告がなされた。

閉 会

以 上